



土曜学習「わかまち 多治見大好き講座」 参加してみて考えたよ！

第1期 多治見タイムマシン大作戦①
下街道なぞときツアー
「うなくんからのミッション」(5/24)

I. 受講生より

1. 参加して新しく発見したことは何ですか？

- ・昔は木の橋で木の橋の上に土が乗っていたことや、タイルで絵が作られていたことがわかった。(小3)
- ・多治見橋は5回も架け替えられたこと。(小5)
- ・多治見国長のこと。(小4)
- ・屋根の上の神様。(小2)
- ・多治見には300年の古い歴史があること。(小6)



2. 50年後の多治見はどうなっている？

- ・もっと多治見の歴史が発見されていて、その歴史を使って町を復興してほしい。(小6)

3. 未来の自分へ励ましのメッセージを送ろう！

- ・今の発想を未来につなげていきたい。そのため、多治見の文化をつなげていくこと。(小2)

4. 保護者より

- ・帰る時橋を渡ったら橋について教えてくれました。普段何気なく通っている物に目を向けることができて多治見の昔だけでなく、昔のくらしも知ることができたようです。(小3)
- ・お天気が悪い中、ボランティアの方や中学生に案内していただき、ありがとうございました。(小3)

II. 中学生ボランティアより

1. 参加して新しく発見したことは何ですか？

- ・多治見の江戸や明治の歴史がわかった。歩いた所は、車で通る時には気づかなかったり、行けなかつたりする場所だったので、多治見にこんな場所があるんだと発見できた。(中2)



2. 50年後の多治見を考えよう！

- ・多治見ならではの産業、歴史、文化にもっとたくさんの人が興味をもってきている。(中2)

3. 未来の自分へ励ましのメッセージを送ろう！

- ・多治見を有名にしたい。そのために多治見の魅力を発信したい。(中3)
- ・将来人を助けたい。また、自分からできることを考えて行動できる人間になりたい。(中2)

4. 中学生ボランティアに参加して

- ・歩いている人があいさつしてくれたり、参加した子たちが温かい声をかけ合っていて、そういうことができるところが多治見のよさだと思った。(中2)

第2期 多治見陶磁器探検隊① ～美濃焼名人になろう～(6/7)

I. 受講生より

1. 参加して新しく発見したことは何ですか？

- ・お皿やコップなどの陶器に、たくさんの種類があることがわかった。同じ陶器でも形や模様が全く違っていった。さらに、陶器ごとに名前があり、すごく驚いた。(中1)
- ・陶器の種類や茶碗を観て、その作者さんが作った時の気持ちが伝わってきたこと。(小5)

2. 50年後の多治見はどうなっている？

- ・今よりもっと建物にタイルが使われている。(小3)
- ・焼き物を作る人の数が減ってしまいそうだけど、それ以上に今より人気になっていそうだと思う。(小6)
- ・今と同じで土曜学習のように、子ども向けの講座がもっと増えて多治見の陶磁器がどんどん広がっていくと思う。(小4)



3. 未来の自分へ励ましのメッセージを送ろう！

- ・この講座に参加してよかったと今とてもそう思う。参加する前は、将来の夢などまだ全然決まっていなかったけれど、この講座に参加して夢(陶芸家になりたい)が決まったから。ろくろのやり方を教えてくださったお兄さん、ありがとう。とても優しく教えてくださってうれしかった。(小4)。

4. 保護者より

- ・初めての参加でしたが、最初から安心して吸い込まれるように、会場に入っていました。一緒に応募した子と別々の班でしたが、体験したことそのものが嬉しかったようです。お抹茶やお菓子のこと、ろくろのこと、作った陶器のこと、とても生き生きと目を見開いて話してくれました。多治見の伝統と人の温かさに自然と触れたのだと感じ、私も嬉しく思いました。ありがとうございました。(小1保護者)

II. 中学生ボランティアより

2. 50年後の多治見はどうなっている？

- ・いろいろな仕事が機械化される中でも、陶芸などの伝統は守られ、残っている。(中1)
- ・陶器や土曜学習が広がっている。(中3)
- ・タイルがいろいろな所で使われる。たくさん陶器が作られている。(中1)
- ・陶器やタイルでもっと有名になってほしい。(中3)

3. 未来の自分へ励ましのメッセージを送ろう！

- ・多治見を好きなままいてほしい。そのために、地域の魅力をたくさん見つけてほしい。(中3)

4. 中学生ボランティアに参加して

- ・皆とても熱心で積極的で、ボランティアとして参加していてとても楽しかった。また次回のボランティアでも頑張りたい。(中2)